

上部診療情報提供書 [胃癌検診]

患者氏名 テスト患者9 ID 999999999 内視鏡番号 000000102 病理番号 0
 性別 男 年齢 79 生年月日 昭和01年01月01日 感染 ☒ HBV ☐ HCV ☐ TPHA ☐ MRSA ☐ * * *
 実施日 2005/10/08 実施医 01 医師1 指導医 01 医師1 主治医 01 医師1 部署名 02 内科

目的
☐ スクリーニング ☒ 経過観察 ☐ 精密検査 ☐ 治療 ☐ その他

治療内容
☐ 粘膜切除術 ☐ 止血術 ☐ 静脈瘤結紮術 ☐ 静脈瘤硬化術 ☐ 胃瘻増設術
☐ その他

到達部位 生検
☐ 食道 ☐ 胃 ☒ 十二指腸 ☐ 小腸 ☐ 食道 ☐ 胃 ☐ 十二指腸 ☐ 小腸
 色素 ☐ ルゴール ☒ インジゴカルミン ☐ 墨汁 ☐ トリイジンブルー ☐ その他

点墨法 前処置状態 咽頭反射 HP培養
☐ クリップ ☒ 墨汁 ☒ 良好 ☐ 不良 ☐ 検査不可 ☒ 弱い ☐ 強い ☒ あり

前投薬
☐ ブスコパン ☐ グルカゴン ☒ セルシン ☐ ソセゴン ☐ その他

対応
☐ 至急 ☐ 即入院 ☒ 当日外来 ☐ その他

所見

食道 ☐ 正常範囲 ☐ glycogenic acantosis ☐ 食道隆起性病変 ☐ 異物
☐ 食道炎 ☐ 食道静脈瘤 ☐ 食道癌 ☐ 色調変化
☐ 食道潰瘍 ☐ 食道憩室 ☐ パレット食道 ☐ 発赤

胃 胃萎縮 食道裂孔ヘルニア
☐ O-III ☐ O-II ☐ O-I ☐ C-III ☐ C-II ☐ C-I ☐ 軽度 ☐ 中等度 ☐ 巨大
☐ 正常範囲 ☐ 隆起性病変 ☐ 潰瘍性病変 ☐ 発赤 ☐ 狭窄
☐ 表層性胃炎 ☐ 過形成性ポリープ ☐ 血管性病変 ☐ 出血
☐ びらん性胃炎 ☐ 胃腺種 ☐ 色調変化 ☐ 異物
☐ 萎縮性胃炎 ☐ 陥凹性病変 ☐ 褪色調病変 ☐ 変形

十二指腸 ☐ 正常範囲 ☐ 瘢痕 ☐ 出血性病変 ☐ ブルネル腺の過形成 ☐ 腫瘍性病変
☐ 潰瘍性病変 ☐ 変形 ☐ 隆起性病変 ☐ 十二指腸乳頭の腫大

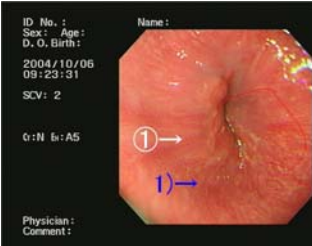
小腸

診断

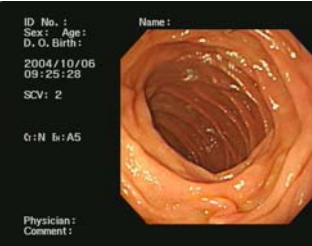
診断①	診断②	診断③	診断④	診断⑤
診断名	部位	部位方向	生検番号	病理
				000 異常なし
				001 食道炎

指示 ☒ 経過観察3ヶ月 ☐ 経過観察12ヶ月 ☐ 要治療入院 ☐ 専門外来へ
☐ 経過観察6ヶ月 ☐ 要治療外来 ☐ 即治療

画像1



画像2



画像3



画像4

